

2016年度 北海道大学 前期 地理

1 地図

出題範囲	大地形, 気候, 農牧業, 地図・地理情報, 地形図, 日本地誌
難易度	★★★★☆
所要時間	17分
傾向と対策	基本的な問題と難しい問題が混在した大問であった。問2など、細かい知識が求められて完答が難しい問題も存在するが、作問者がどのような解答を求めているのかある程度予想がつくものがあるのも事実である。部分点を積極的に取りに行こうとする姿勢が得点差に結びついただろう。また、日頃から地図を見ることは重要である。問1や問6のような問題はやみくもに地理用語を覚えるだけでは解けず、地図を好きになり、読むことが正解への近道であることを忘れてはならない。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

解答例

問1 二)

問2 春先から初夏にかけて吹く強い北西の局地風が畑土壌を飛散させて、種子が飛ばされるなど農作物に被害をあたえることを防ぐため。(60字)

問3 イ)

問4 方法 - 輪作

利点 - 同じ作物を連続して栽培することで特定の養分を偏って消費し、耕作地の地力が低下して生産性が悪化する連作障害を防ぐため。(58字)

問5 製糖工場へ運ばれる作物 - てんさい

工業原料になる作物 - 工芸作物

問6 新潟県, 福島県, 栃木県, 群馬県

問7 ロ)

問8 対馬海流の水蒸気を大量に含んだ北西季節風が日本海側から脊梁山脈の越後山脈に衝突し、日本海側に地形性降雪をもたらすことに加え、斜面が多くスキーリゾートの設置に適した場所が多いから。(89字)

問1 難易度：★★★★☆

解答

二)

解説

帯広と最も近い緯度にあるヨーロッパの都市を、4つの選択肢から選ぶ問題。ヨーロッパ各都市の大まかな緯度を予想して解答する。日頃からポイントとなる世界の都市の緯度経度を頭に入れ、正確な世界地図が思い描ける受験生にとっては平易な問題だったであろうが、緯度差が5度より小さい都市の比較を求められており、緯度・経度の比較の問題の中では難しい問題であった。解説の最後で各都市の大まかな緯度についてまとめているので参考にされたい。

まず、帯広の緯度について。地形図の左欄外に「42° 50′」と書かれていることに気がつきたい。これが帯広の緯度である。非常にわかりづらい箇所に緯度が書かれており、不親切ともいえるが、地形図読図の技能の一部として出題されているのだろう。ただ、この緯度に気がつかなかった場合でも、ある程度対応できる。帯広の正確な緯度を覚えている受験生は多くはないだろうが、**秋田県の八郎潟が東経140度線と北緯40度線の交点上に位置しているという基本的知識を用いたい**。これをもとにすれば、帯広は北緯40度より少し高い緯度に位置していると想像できるだろう。帯広が北海道の十勝平野に位置していることは、常識として知っていなくてはならない。

次に、各ヨーロッパの都市の緯度について。イ)パリはフランスの首都、ロ)ベルンはスイスの首都、ハ)マドリードはスペインの首都、ニ)モナコは地中海沿岸の保養都市で、フランスのコートダジュール付近に位置する。まず、**この4都市を緯度が高い順に並べなおすと、イ)→ロ)→ニ)→ハ)である**ことは判断できるようにしよう。ここで北緯40度付近を通過する都市として、アンカラとマドリードがあることを知識として使いたい。帯広は北緯42度50分に位置するから、マドリードより緯度は高い。イタリアより北部にあるスイスのベルンとフランスのパリは、北緯40度よりはるかに北方にあると考えられるので、帯広よりも緯度が高いと判断する。よって、**帯広と緯度がほぼ同じ都市はモナコ**ということになる。ともあれ、ヨーロッパは偏西風と北大西洋海流の影響で、通常の緯度に比べて暖かい気候となるため、ヨーロッパの各都市の緯度を低く見積もる傾向が強いので注意されたい。選択肢の4都市のおおよその緯度は以下のとおり。

イ)パリ 北緯49度

ロ)ベルン 北緯47度

ハ)マドリード 北緯40度

ニ)モナコ 北緯43度

◆参考

覚えておきたい緯度経度

おさえるべき緯度・経度

北緯 60 度	オスロ, スtockホルム, ヘルシンキ, サンクトペテルブルク
北緯 40 度	フィラデルフィア, マドリード(イベリア半島), イタリア半島南部, バルカン半島, アンカラ, 北京, 八郎潟(秋田県)
赤道	エクアドル, コロンビア, ブラジル(アマゾン川河口), ギニア湾, ガボン, コンゴ共和国, コンゴ民主共和国, ウガンダ, ケニア, ソマリア, インドネシア, シンガポール南方沖
南緯 40 度	バス海峡
本初子午線	ロンドン, サハラ砂漠西部

位置関係のポイントとして覚えておくと便利な都市・場所

- ・東京：北緯 35 度, 東経 140 度
- ・上海：北緯 30 度, 東経 120 度
- ・サンクトペテルブルク：北緯 60 度, 東経 30 度
- ・カイロ：北緯 30 度, 東経 30 度
- ・フィラデルフィア：北緯 40 度, 西経 75 度
- ・ニューオーリンズ：北緯 30 度, 西経 90 度
- ・デンヴァー：北緯 40 度, 西経 105 度
- ・ロサンゼルス：北緯 35 度, 西経 120 度
- ・アメリカ西海岸：西経 120 度
- ・アメリカ東海岸：西経 75 度
- ・オーストラリア北端：南緯 10 度
- ・アフリカ大陸北端：北緯 35 度
- ・アフリカ大陸南端：南緯 35 度

問2 難易度：★★★★☆

解答例

春先から初夏にかけて吹く強い北西の局地風が畑土壌を飛散させて、種子が飛ばされるなど農作物に被害をあたえることを防ぐため。(60字)

解説

帯広で防風林がつけられている理由を答える問題。十勝地方でみられる自然現象について知っている受験生なら解答が可能だが、多くの受験生は知らなかったであろう。そのため、問題文と地形図から防風林がつけられた理由を想像しなくてはならず、完答は難しい。

防風林は風の強い地域で、耕地や家屋を守るために設置される保安林である。また、地形図から防風林が北東-南西の方向で植えられていることがわかる。よって、「強い(北西の)局地風が、畑土壌を飛散させて、農作物に被害をあたえることを防ぐ」目的で防風林が設置されていることは、想像できるようにしたい。

解答例のように、十勝地方特有の局地風についてもふれられれば高得点が期待できる。この局地風は「十勝風」とよばれ、春先から夏にかけて、気圧配置などさまざまな理由により日高山脈から十勝平野に向けて吹く、北西の強い風である。春先に吹くことから、植えたばかりの種子や苗が吹き飛ばされるなど深刻な問題を引き起こしかねず、風上の北西側に防風林が設置されている。解答例ではこれらの事項を述べているが、難易度は高い。満点は難しくても、示された地形図に着目することで部分点を積極的に取りにいきたい問題である。

同じように防風林が特徴的な平野として富山県の砺波平野が挙げられる。砺波平野では強い風から家屋を守るための屋敷林が発達しており、火事による延焼を防ぐために散村の形態をとっている。

問3 難易度：★★★★☆

解答

イ)

解説

指定された4本の道路に囲まれた範囲の面積を求める問題。地形図の縮尺を判断して計算するだけで解答に至ることができる。親切にも1ヘクタールの面積の定義が問題文中に書かれているが、1ヘクタールは面積の単位として10,000 m²を表すことは常識として知っていなくてはならない。

まず、この地図の縮尺について考えたい。おもに大学入試で取り扱われる地形図は縮尺2万5千分の1か縮尺5万分の1であるが、縮尺2万5千分の1地形図は主曲線が標高10mおき、縮尺5万分の1地形図は主曲線が標高20mおきに引かれる。この地図では標高110mに主曲線が引かれているので、2万5千分の1地形図であることがわかる。基線と西二線の間隔が4.4cmであり、縮尺は2万5千分の1であるから実際の間隔は4.4cm×25,000=110,000cm=1,100mである。また、零号と南十八線の間隔は、基線と西二線の間隔のおよそ半分だから、1,100m÷2=550mであるということがわかる。

したがって、指定された範囲の面積は、1,100m×550m=605,000 m²である。1ヘクタールは10,000 m²であるから、面積は60.5ヘクタールであり、これに一番近い選択肢はイ)となる。単位のなおし忘れによる計算ミスがないようにしたい。

◆参考

地形図上の縮尺

地形図問題では縮尺と等高線の読み取りは最も重要である。おさらいしておこう。

項目	2万5千分の1	5万分の1
実際の距離 1km	地形図上での 4cm	地形図上での 2cm
主曲線	10mごと	20mごと
計曲線	50mごと	100mごと

問4 難易度：★★★★☆

解答例

方法 - 輪作

利点 - 同じ作物を連続して栽培することで特定の養分を偏って消費し、耕作地の地力が低下して生産性が悪化する連作障害を防ぐため。(58字)

解説

作物を毎年異なった耕地に植えて栽培する方法の名前と、そうした農法をとる理由を答える問題。センター試験、ひいては高校入試などでも出題される基本的な問いである。まず、**異なった作物を同じ土地で周期的に栽培する方法を輪作**という。

次に輪作の利点について考えよう。輪作とは対照的な農法として、**連作**が挙げられる。連作は同じ土地で同じ作物を栽培し続けることであるが、**連作を続けると土壌の特定の養分を偏って消費することになり、地力の低下につながる**。これを**連作障害**とよび、作物の生産性が年々悪化する。この問題を解決する手段として用いられている農法が輪作であり、土地に負荷をかけず安定した農作物供給が可能となっている。

問5 難易度：★★★★☆

解答

製糖工場へ運ばれる作物 - てんさい

工業原料になる作物 - 工芸作物

解説

十勝地方で栽培される農作物のうち、収穫後に製糖工場へ運ばれる作物の名前と、そのように工業原料として利用される作物の名前を答える問題。小麦、小豆、てんさい、じゃがいものうち、砂糖の原料となるのが**てんさい**であることは常識である。てんさいは別名サトウダイコンともよばれ、冷涼乾燥な気候を好む根菜類である。

そして、てんさいのように**工業原料として使われる農作物**を特別に**工芸作物**という。てんさいやサトウキビのほかにも、綿花やジュートなど繊維として加工される作物、タバコなど嗜好品として加工される作物など、さまざまな工芸作物が存在する。

問 6 難易度：★★★★☆

解答

新潟県，福島県，栃木県，群馬県

解説

地図中に示された範囲に含まれる県名をすべて答える問題。日本地理に詳しい受験生であれば簡単に解答できるだろうが、やや発展的な問題である。地図上に表示されている地名をもとに県名を考えていくことになる。解答に至る道筋は必ずしも以下に述べるとおりでないことに注意されたい。

まず、点線(県境)を追って、問題の地図範囲に4県存在することを確かめよう。そして、図の西半分を上越新幹線が縦断しており、北西には「魚沼」があることに注目しよう。魚沼は日本有数のブランド米「コシヒカリ」の有名な産地であり、**新潟県**に属している。次に、日本地図を頭に浮かべながら、新潟県の周辺にある県を予想し、他の県を特定していこう。新潟県の南に位置している県は**群馬県**であり、上越新幹線が通過していることなどから特定する。群馬県の東、日本一標高が高い自然湖である「中禅寺湖」がある県は**栃木県**である。そして新潟県の東、栃木県の北に位置する県は**福島県**である。「会津朝日岳」があることなどからも判断したい。

以上4県が、設問中の地図範囲に含まれている県である。

問 7 難易度：★★☆☆☆

解答

ロ)

解説

図中の上流域に幅の広い水域がある理由を考える問題。問題の選択肢の1つに大きな誤りがあるので比較的簡単に解ける。

- イ) 正 東京に供給される水の水源はおもに荒川・利根川・多摩川であるが、群馬県北部の幅の広い水域は、利根川最上流部に位置する八木沢ダムとダム湖の奥利根湖である。
- ロ) 誤 U字谷は、氷河の侵食によって地表がU字状に削られてできた地形であるが、当該地域が山岳氷河に覆われていたことはなく誤りである。よって、**ロ**が解答となる。日本でU字谷がみられる地域は立山連峰(富山県・岐阜県)の一部に限られる。
- ハ) 正 ダムの設置目的として発電は主たるものであり、発電用のダム湖は数多く存在する。地図上では奥只見ダムなどが有名である。
- 二) 正 中禅寺湖は、北東に位置する男体山の噴火によってできた^{せきとめ}堰止湖である。

解説冒頭で述べたように、イ)、ハ)、二)の選択肢について正誤の判断をつけることは難しいが、ロ)が誤りであることは簡単にわかるだろう。

問8 難易度：★★★★☆

解答例

対馬海流の水蒸気を大量に含んだ北西季節風が日本海側から脊梁山脈の越後山脈に衝突し、日本海側に地形性降雪をもたらすことに加え、斜面が多くスキーリゾートの設置に適した場所が多いから。(89字)

解説

地図中の範囲に多くのスキーリゾートが建設されている理由を、**自然条件に注目**しながら答える問題。関東地方在住の受験生であれば、この地域にスキー場が多数建設されていることは知っているだろう。仮にそれを知らなくても、地図中の範囲が特定できれば十分解答に至ることができる。地図の中央を南西 - 北東方向にまたがっているのは、日本の^{せきりょう}脊梁山脈の一部をなす越後山脈である。冬季に吹く北西季節風はユーラシア大陸から吹いてくるが、暖流の対馬海流を通過する過程で大量の水蒸気を吸収する。それが、越後山脈にぶつかることで風上に大量の降雪をもたらす。よって、スキー場には欠かすことのできない雪が豊富である地図中の範囲にスキー場が設置されるのである。当然、地図中の範囲は山岳地域が多いから、斜面が多いということも理由として挙げておきたい。

なお、本問では問われていないが、スキーリゾートが多数立地する社会条件としては、高速道路や新幹線などの交通インフラが整備され、関東からの交通の便がよいことなどが挙げられるであろう。

(西田航大, 高橋粒)

2016年度 北海道大学 前期 地理

② 農業

出題範囲	気候, 農牧業, 産業概論, 貿易
難易度	★★★★☆☆
所要時間	19分
傾向と対策	農業についてさまざまな側面から考えさせる大問。難問はなく、基礎的な知識やその活用を重視した問題がほとんどである。問1は問題をよく読み、引っかけからないようにしたい。見慣れないグラフを使った問題もいくつか出題された。自分も持っている知識を使いながら注意深くグラフを読み取り、確実に得点していきたい。問2, 4, 5, 6, 7は頻出の問題。いずれのテーマも農業について考える際の基礎となるものである。間違えた問題はよく復習しておこう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

解答例

問1 ハ)

問2 首都の名称 - マニラ

フィリピンの首都 - C, 香港 - A, シンガポール - B

問3 ネリカ米

問4 農作業の省力化やコストの削減, 食糧の安定供給を目指して, 遺伝子操作により病害虫耐性や農薬耐性, 保存性の向上などの改良を施した作物。(65字)

問5 日本 - A, アメリカ合衆国 - C, イギリス - B

問6 米 - B, 小麦 - A, とうもろこし - C

問7 小規模生産で高価な国産米は大規模生産で安価な輸入米との価格競争に対抗できないため, 関税をかけ輸入米の価格を上げることで国内米の消費を促すことができるから。(77字)

問1 難易度：★★★★☆

解答

ハ)

解説

人口と食糧生産の推移を示したグラフの読み取り問題。この図のみから読み取れる内容が書かれた選択肢を選ぶことが求められている。一見すると食糧生産に関する知識を求めている問題のように思われるが、単なるグラフの読み取り問題である。食糧生産に関する知識を交えて考えてしまうと思わぬ間違いをしてしまう。

- イ) 誤 確かに北アメリカの食糧生産は減少している。しかし、その理由が異常気象であるとはこの図から読み取ることができないので不正解である。
- ロ) 誤 グラフで示されている期間においては、北アメリカの人口は一貫して増加している。しかし、食糧生産は減少している年がある。よって、1人あたりの食糧生産が常に増加しているとはいえない。
- ハ) 正 アジアは2005年から2010年の5年間で食糧生産を約20%伸ばしているが、北アメリカでは10%程度しか増加していない。
- ニ) 誤 本問のグラフは2005年を100とした指数で数値を表している。よって、このグラフからアジアと北アメリカの食糧生産量の大小を比較することは不可能である。もっとも、アジアの人口は北アメリカの人口よりはるかに多く、1994年時点でもアジアは北アメリカの食糧生産を大きく上回っていたので、この選択肢の内容は誤っている。

問2 難易度：★★★★☆

解答

首都の名称 - マニラ

フィリピンの首都 - C, 香港 - A, シンガポール - B

解説

東南アジアの雨温図の判別問題。フィリピンの首都がマニラであるということは重要事項。フィリピンの人口最大の都市は、マニラ都市圏内に位置する旧首都ケソンシティであるということもおさえておこう。

雨温図の判別をする前に、各都市の気候を確認しておこう。マニラは熱帯モンスーン気候(Am)、香港は温帯冬季少雨気候(Cw)、シンガポールは熱帯雨林気候(Af)である。雨温図の特徴から確実に気候を判別していきたい。

- A 明確な冬季の気温低下がみられるので、他の都市に比べて緯度の高い都市が該当するといえる。また、冬は乾季であると読み取ることができ、最寒月平均気温は18°Cを下回っていることから、この雨温図の都市は温帯冬季少雨気候(Cw)であるといえる。よって、香港が該当する。
- B 1年を通して気温が高く、降水量も多い。この都市は熱帯雨林気候(Af)である。よって、シンガポールが該当する。
- C 1年を通して気温が高い。しかし、冬季は夏季に比べて降水量がかなり少なく、乾季がある。ゆえにこの都市は熱帯モンスーン気候(Am)であり、マニラが該当する。

以上より、フィリピンの首都マニラはC、香港はA、シンガポールはBとなる。

問3 難易度：★★★★☆

解答

ネリカ米

解説

ネリカ米(New Rice for Africa)は乾燥や病害虫に強いアフリカ種と高収量のアジア種を交配して誕生した新種の陸稲である。人口増加が急速に進むアフリカでは食糧増産と貧困対策の切り札として期待されている。日本など先進国の支援でウガンダを中心に栽培が広がっている。日本ではあまり知られていない品種であり、わからなかった人も多いただろう。これを機に覚えておこう。

アフリカで稲作をしているイメージをあまりもてない人もいるかもしれない。アフリカでは、ウガンダなど赤道周辺の国や**ニジェール川**流域など西アフリカの国々、マレー系が一定数居住しているマダガスカルの北部において稲作が行われている。

問4 難易度：★★★★☆

解答例

農作業の省力化やコストの削減，食糧の安定供給を目指して，遺伝子操作により病害虫耐性や農薬耐性，保存性の向上などの改良を施した作物。(65字)

解説

遺伝子組み換え作物についての説明問題。遺伝子組み換え作物がつけられた目的や、その特徴を考えていこう。

遺伝子組み換え技術が誕生する以前は、作物と作物を掛け合わせる交配によって品種改良が行われていた。これを効率的かつ効果的に行う方法として考案されたものが遺伝子組み換え技術である。大規模生産を行うために**農作業の省力化**を図ること、**生産・運搬にかかるコストを削減**すること、**食糧を安定的に供給**することなどを目指して多くの品種で遺伝子組み換えが行われてきた。遺伝子操作により誕生した遺伝子組み換え作物は**病害虫耐性や農薬耐性，保存性の向上などの改良**が施されている。

病害虫耐性は作物の収量を安定化させることに貢献している。農薬耐性により効率的に雑草のみを除くことができるようになった。保存性の向上は食料廃棄の減少などをもたらした。このようにメリットが大きい遺伝子組み換え作物は南北アメリカ大陸を中心に普及が進んでいる。しかし、日本やヨーロッパ諸国は人体への影響を憂慮し、導入には慎重な姿勢をとっている。

問5 難易度：★★★★☆

解答

日本 - A, アメリカ合衆国 - C, イギリス - B

解説

産業別人口構成のグラフを見て、該当する国を考える問題。各国の産業の特徴や歴史的背景をもとに考えていこう。

A **日本**が該当する。日本は明治維新以降急速に工業化を進めてきた。しかし、欧米諸国と比べると工業は未発達であり、**第二次世界大戦以前は第一次産業が主要な産業**であった。金融業をはじめとするサービス業の発

展が遅れていたことも特徴的である。1940年から1950年にかけて第一次産業従事者の割合が一時的に増加し、第二次産業従事者の割合が減少している点も判別のポイントになるかもしれない。この時期はGHQによる占領政策が行われていた時期に合致する。終戦直後は軍事関連産業が規制されていたためであると考えられる。経済が成熟した現在においても、小規模農家が多いため、第一次産業従事者の割合は他の先進国に比べて高い。また、自動車工業をはじめとする製造業が発達しているため第二次産業従事者の割合も比較的高くなっている。

- B **イギリス**が該当する。18世紀後半に**産業革命**が始まったイギリスでは、かなり早い時期から第二次産業が発達していた。当時は世界の工場とよばれ世界の工業をけん引していたが、他国の工業化が進むにつれてその地位は次第に低下していった。1880年頃には工業生産額がアメリカに抜かれている。戦後は**設備の老朽化**により競争力が著しく低下。しかし、近年では**北海油田**の開発が進められているほか、**シリコン**を中心に電子産業が発展を遂げている。
- C **アメリカ**が該当する。西部開拓により農地を拡大してきたが、19世紀後半以降工業化を進め、世界の工業生産をけん引する存在までに成長した。戦後は世界金融の中心地としての役割を強化した。また、**シリコンヴァレー**を中心にIT産業が発達しており、第三次産業従事者が特に多くなっている。

以上より、日本はA、アメリカ合衆国はC、イギリスはBとなる。

問6 難易度：★★★★☆

解答

米 - B, 小麦 - A, とうもろこし - C

解説

三大穀物の生産量、輸出量の表から、それぞれに該当するものを考える問題。生産量から判別することは難しい。**貿易率**(=世界の輸出量/世界の生産量)を手掛かりにして考えていこう。

- A 最も貿易率が高い。**商業的**な色合いが強い**小麦**が該当する。アメリカ、オーストラリア、カナダなどの**大規模**農場で生産された小麦はエジプトや日本などへ大量に輸出されている。
- B 最も貿易率が低い。**自給的作物**である**米**が該当する。商業的に大規模生産されることは少なく、**小規模**でかつ自給用としての生産が多い。そのため、生産された米の大部分はその国内で消費されている。米の生産上位国には人口が多い国が多く、主食として大量に消費されるため輸出に回される量は少ない。
- C 貿易率は中程度である。**とうもろこし**が該当する。アメリカやブラジル、アルゼンチンなどで大規模に生産されている。しかし、食用や**飼料用**として生産国内での消費が多く、小麦ほど貿易率は高くない。近年では、中国やアメリカで飼料用としての消費が拡大しており、生産量は拡大傾向にある。しかし、とうもろこしの価格は低下しており、南米ではより収益性の高い大豆へ作付けがシフトしている。**三大穀物の中でトウモロコシの生産量が最も多い**こともおさえておきたい。

以上より、米はB、小麦はA、とうもろこしはCとなる。

問7 難易度：★★★★☆

解答例

小規模生産で高価な国産米は大規模生産で安価な輸入米との価格競争に対抗できないため、関税をかけ輸入米の価格を上げることで国内米の消費を促すことができるから。(77字)

解説

農作物に課している関税に関する問題。この問題は少し難しく感じられるかもしれないが、日本と外国の農業の違いを考慮すると書きやすいだろう。キーワードの「価格」を入れることも忘れないようにしたい。

国内の稲作農家の多くは小規模であり、人件費も高いので生産費は高く、どうしても国産米は高価になってしまう。これに対し、アメリカなどでは大規模生産を行っており、安価な米を提供することができる。そのため、輸入米に関税をかけないと国内の農家は価格競争に対抗できない。関税をかけ輸入米の価格を上げることで国内米の消費を促し、国内農家を守っているのである。

(來住直哉，高橋粒)

2016年度 北海道大学 前期 地理

3 環太平洋地域

出題範囲	大地形, 海流, 民族, 貿易, 地域統合, 地図・地理情報, ロシア地誌
難易度	★★☆☆☆
所要時間	15分
傾向と対策	環太平洋地域に焦点を当てた比較的容易な大問。記述問題の難易度もそれほど高くなく, 基本的な知識や技能で対応できる問題ばかりである。海流, プレート, 断層の知識は特に重要である。特徴と位置をしっかりとおさえておこう。地震やEPAといった, 時事的な問題も出題された。知識の補充と合わせて時事問題にも関心を持ち, 取りこぼしのないように努めたい。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

解答例

問1 太平洋プレートが北アメリカプレートの下に沈み込むプレート境界で蓄積されたひずみが限界に達し, プレートの跳ね上がりや破壊がもたらされたことで地震が発生した。(77字)

問2 活断層

- 問3 A 海流名 - カリフォルニア海流 説明 - ハ)
 B 海流名 - ペルー海流 説明 - イ)
 C 海流名 - 日本海流(黒潮) 説明 - ロ)
 D 海流名 - 千島海流(親潮) 説明 - ニ)

問4 アムール川(黒竜江)

問5 7月5日午前5時

問6 マオリ

問7 関税などの貿易障壁の削減や撤廃といった貿易自由化に加え, サービス, 投資, 人の移動などさまざまな分野での連携を強化し, 締結国間の経済協力を図る協定。(73字)

問1 難易度：★★★★☆

解答例

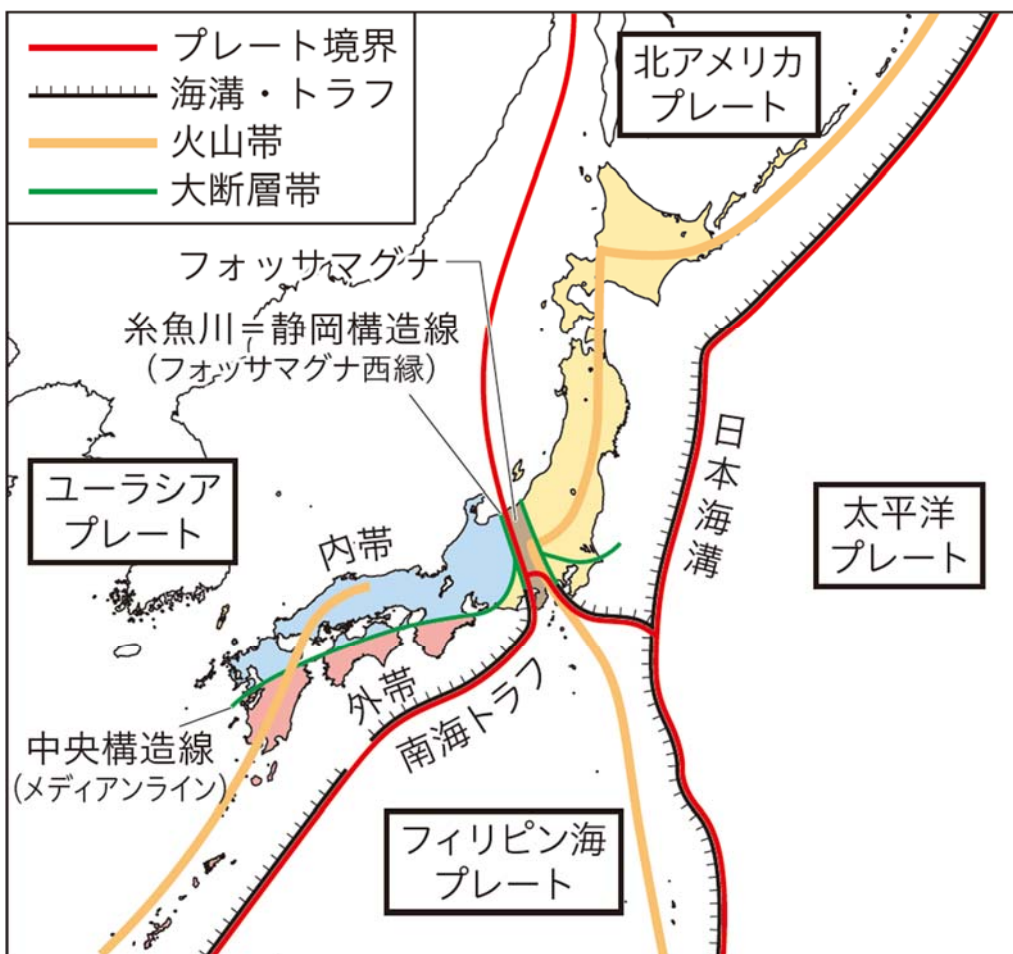
太平洋プレートが北アメリカプレートの下に沈み込むプレート境界で蓄積されたひずみが限界に達し、プレートの跳ね上がりや破壊がもたらされたことで地震が発生した。(77字)

解説

地震の原因を問う問題。地震はプレート運動によって引き起こされる。発生する場所によって地震を分類すると、プレート内部で発生するタイプとプレート境界で発生するタイプの2つに分けられる。1995年の兵庫県南部地震は前者のタイプ、本問で問われている東北地方太平洋沖地震は後者のタイプである。

日本列島付近には4つのプレートがある。太平洋プレートは北アメリカプレートとぶつかり、日本海溝にもぐり込んでいる。フィリピン海プレートはユーラシアプレートとぶつかり、南海トラフにもぐり込んでいる。東北地方太平洋沖地震は太平洋プレートと北アメリカプレートのプレート境界で発生したものである。このプレート境界では太平洋プレートが北アメリカプレートの下に沈み込んでいるため、ひずみがたまっている。長年にわたるひずみの蓄積が限界に達したことで北アメリカプレートの跳ね上がりもたらされたのである。さらに、プレート境界付近ではプレートの一部が破壊された。このプレートの跳ね上がりや破壊が東北地方太平洋沖地震の原因となったのである。

地震に限らず、自然災害に関連した問題はよく出題される。自然災害についてはメディアでも頻繁に取り上げられており、時事的な知識が求められる問題も少なくない。正確な知識を身につけておきたい。



問2 難易度：★★★★☆

解答

活断層

解説

地震に関する基本知識を問う問題。断層はプレート運動がもたらすひずみや火山活動によって形成される。特に、数十万年前から繰り返し地震を発生させ、今後も活動する可能性の高い断層は**活断層**とよばれる。活断層は地震の原因となることも多く、活断層上につくられた建造物はその被害を大きく受ける可能性がある。本問では問われなかったが、代表的な断層の種類や位置も重要な知識である。地図帳や資料集を見てよく確認しておこう。

問3 難易度：★★★★☆

解答例

- A 海流名 - カリフォルニア海流 説明 - ハ)
- B 海流名 - ペルー海流 説明 - イ)
- C 海流名 - 日本海流(黒潮) 説明 - ロ)
- D 海流名 - 千島海流(親潮) 説明 - ニ)

解説

環太平洋地域の海流の名称とその特徴を考える問題。いずれも非常に重要な海流なので必ず完答したい。

- A **カリフォルニア海流**。アメリカ西岸沖を流れる**寒流**である。この海流は沿岸地域の気候に大きな影響を及ぼしている。寒流が沖合を流れる場所では上昇気流が発生しにくく、沿岸地域の降水量が比較的少なくなる。さらに夏に北上してくる**亜熱帯高圧帯**の影響を受けるため、北緯50度以南のアメリカ西岸では**地中海性気候(Cs)**となる。この気候を生かして**ブドウ**や**グレープフルーツ**が多く生産されている。説明文は**ハ)**が該当する。これとは対照的に、北緯50度以北の地域は暖流の**アラスカ海流**の影響で緯度が高いわりに温暖な、**西岸海洋性気候(Cfb)**である。
- B **ペルー海流**。南アメリカ大陸西岸沖を流れる**寒流**である。下層の空気が低温になるため上昇気流が発生しにくく、蒸発する水蒸気も少ない。そのため、沿岸地域の降水量が少なく、**海岸砂漠のアタカマ砂漠**が形成されている。また、ペルー沖合では**湧昇流**が発生しており、**南東太平洋漁場**が広がっている。この海域は**カタクチイワシ(アンチョビー)**の漁場として知られる。説明文は**イ)**が該当する。
- C **日本海流(黒潮)**。日本海流が流れる海域は、暖かい海域に生息する**マグロ**や**カツオ**の漁場として広く知られており、**銚子**や**焼津**などの有名な漁港が立地している。プランクトンの量はそれほど多くないため**透明度は高く**、**黒っぽい色**になる。説明文は**ロ)**が該当する。
- D **千島海流(親潮)**。この海流と日本海流がぶつかり合う場所では潮目が発生し、好漁場が広がっている。プランクトンを豊富に含んでいるため、**緑色**や**茶色**がかかった色になる。説明文は**ニ)**が該当する。この選択肢を積極的に選ぶのは難しいかもしれないが、他の選択肢との比較から判断できる。

問4 難易度：★★★★☆

解答例

アムール川(黒竜江)

解説

間宮海峡付近に河口をもち、**自然的国境**として利用されている河川といえば**アムール川**である。中国名の**黒竜江**で解答してもよい。アムール川は中国とロシアの国境の一部となっている。

問5 難易度：★★★★☆

解答

7月5日午前5時

解説

時差に関する問題。センター試験でも頻出の基本問題である。素早く正確に解けるようにしたい。

問題文に書かれている通り、シアトルは**グリニッジ標準時(GMT)**から8時間遅れている。しかし、シアトルは**サマータイム**を採用している。7月4日にはシアトルではサマータイムが実施されているので、時刻が1時間進められる。東京は**日本標準時(JST)**を採用している。日本標準時子午線は**東経135度**である。経度15度ごとに1時間の時差が発生するので、東京は**グリニッジ標準時(GMT)**より9時間進んでいる。ゆえに、東京はシアトルより**16時間**進んでいるとわかる。7月4日午後1時から16時間進めた**7月5日午前5時**が東京の時刻となる。

問6 難易度：★★★★☆

解答

マオリ

解説

ニュージーランドの先住民族は、ポリネシア系の**マオリ**族である。白人の入植者による迫害を受けてきたが、近年ではマオリ語が公用語に指定されるなど、権利回復が進められている。先住民族の名称は頻出である。**アイヌ**、**ネイティブアメリカン**、**アボリジニ**とともに覚えておこう。

なお、先住民族としてアボリジニがいるオーストラリアでは、先住民族の言語は公用語とされていない。人口比率も、オーストラリア内のアボリジニの割合(2.5% <2007年>)よりも、ニュージーランド内のマオリ族の割合(14.0% <2006年>)の方が高い。

問7 難易度：★★★★☆

解答例

関税などの貿易障壁の削減や撤廃といった貿易自由化に加え、サービス、投資、人の移動などさまざまな分野での連携を強化し、締結国間の経済協力を図る協定。(73字)

解説

経済提携協定(EPA)の説明問題。自由貿易協定(FTA)との違いに注目すると書きやすい。FTAは関税などの貿易上の障壁を取り除く協定である。EPAは貿易の自由化に加え、サービス、投資の規制撤廃、人やモノの移動の自由化などを定め、さまざまな分野での連携を強化することで締結国間の経済協力を図る協定である。

日本はASEAN諸国やメキシコ、インド、スイスなどとEPAを結んでおり、農作物の関税緩和だけでなく、看護師や看護福祉士の受け入れ拡大などを含めた包括的な経済協力を進めている。近年では2国間にとどまらず、多国間の自由貿易協定や経済協定も締結されている。こうした協定は農産物価格の低下や工業製品の輸出拡大などのメリットも多いが、国内農家の保護や国内市場のコントロールが難しくなるなどのデメリットも抱えていることを忘れてはならない。

(來住直哉, 高橋粒)

2016年度 北海道大学 前期 地理

4 人口

出題範囲	アジアの工業, 人口, 貿易, 民族, その他社会問題, 東アジア地誌
難易度	★★★★☆☆
所要時間	14分
傾向と対策	人口に関してさまざまな角度から見た問題である。高度な知識を問う問題もあったが、基礎事項を問う問題が多かった。特に問1, 2, 4, 5, 6は、人口に関して考えるうえで最も基本的な事項が問われた問題であったので、確実に解答したい。基本的な問題を取りこぼさないのはもちろんのこと、論述に関しても地理的思考力を身につけ、基礎事項に忠実に考えていけばそれなりに得点できたであろう。

《この解説の使い方》

黒太字 …この試験で合格点を取るために必要な頻出語句を黒太字で記載した

赤字 …解答に関連する語句または内容を赤字で記載した

青字 …この試験で合格点を取るためにおさえておきたい地名を青字で記載した

解答例

問1 中国 - B, ドイツ - D

問2 記号 - B 国名 - イラク

記号 - D 国名 - アフガニスタン

問3 リプロダクティブ・ヘルス・ライツ

問4 ①黄海

②ホワイ川(淮河)

③テンシャン(天山)山脈

④スーチョワン(四川)盆地

問5 イ), ハ)

問6 a - 合計特殊出生率, b - セマウル, c - 戸籍

問7 名称 - 限界集落

理由 - 医療, 行政サービスが受けにくくなるうえ, 若者の流出により高齢化が進み, 社会的, 経済的な共同作業が維持できなくなるため。(59字)

問8 農村から都市に流入した労働者が, 海外資本の工業を安価で豊富な労働力として支え, 労働集約型工業の発展に貢献した。(55字)

問1 難易度：★★★★☆

解答

中国 - B, ドイツ - D

解説

人口の年齢別構成について問われている問題。典型的な国が多いのでしっかりと得点しておきたい。

A メキシコ。AからEの中で最もピラミッド型に近い形となっている。よって、5か国のうち、発展途上国であり人口抑制政策を行っていないメキシコであるということがわかる。メキシコはカトリック教徒の多いラテンアメリカ諸国の1つであり、妊娠中絶に否定的な考え方が普及していることも多産の一因であるだろう。

B 中国。高齢者の層では富士山型の年齢構成割合となっている一方、40歳未満から急速に人口構成割合が減少している。さらに、若年層の人口構成割合が急速に減少している。このような不自然な形の人口ピラミッドができるのはその国の人口政策が大きくかかわっていると考えられる。

ここで中国における人口の増減の推移についてみてみよう。中国では建国時の考えから人口増加を奨励しており、1950年代後半までは人口が増加したが、1979年から一人っ子政策を導入して人口抑制へと政策を転換した。この政策では第一子に優遇措置を取り、第二子以降には罰金を科すなどの施策によって出生率を大幅に抑制した。しかしこの政策によって、過保護になった両親と祖父母の下でわがままに育てられた子どもである「小皇帝」や、第二子以降で罰金を回避するために戸籍登録されなかった「黒孩子」、出稼ぎのため大都市へ流入した浮浪児である「盲流児」が発生し、問題となっている。

同様に、一人っ子政策の弊害として、出生率の急激な低下によって急速な高齢化も挙げられる。Bの人口ピラミッドで40歳代以降急速に割合が減少しているのは、この政策によるものであると説明できる。中国政府はこの少子高齢化を受けて、2015年にすべての夫婦が2人の子どもをもつことを認め、一人っ子政策を廃止した。

C フランス。Cは典型的な釣り鐘型の人口ピラミッドである。釣り鐘型の人口ピラミッドを形成する国として代表的なのはフランスとアメリカ合衆国である。フランスでは一時期出生率の低下に悩まされていたが、手厚い育児支援策を行うことによって合計特殊出生率が2.0(2013年)まで回復した。この数値は先進国としては比較的高い。

D, E D, Eはともにつぼ型の人口ピラミッドで人口減少しているということがグラフから読み取れる。つぼ型の人口ピラミッドを形成する国は、選択肢の中では日本とドイツである。日本では1947~1949年にかけて第一次ベビーブームが、1971年~1974年にかけて第二次ベビーブームが起きたためその世代の年齢構成割合が大きくなっているはずである。この事象が当てはまるのはEである。よってDがドイツでEが日本であるということがわかる。

先進国共通の課題として、少子高齢化による社会保障費の増大、過疎の深刻化、外国人労働者の参入による社会的摩擦の増大などが挙げられる。特にドイツや日本では、合計特殊出生率の低下により社会の少子高齢化が進んでいる。頻出事項なので丁寧におさえておこう。

問2 難易度：★★★★☆

解答

記号 - B 国名 - イラク

記号 - D 国名 - アフガニスタン

解説

難民に関する問題。難民が発生する理由から考えていくと解きやすいように思われる。そこまで難しい問題ではないので正解しておきたい。

まず、A～Eの国名は、順にヨルダン、イラク、イラン、アフガニスタン、パキスタンである。これは地理的な基礎事項であることに加えてこれがわからないと正答できない。しっかりとおさえておこう。

さて、難民というのは狭義には難民条約によって定められた「人種、宗教、国籍、政治的意見や特定の社会集団に属していることを理由に自国にいと迫害を受ける十分な恐れがあるために他国の逃れた人々」を指す。一方、広義には武力紛争・民族浄化・自然災害・飢餓などによって国外に流出した人々も含む。端的にいうと、社会的に不安定な状況にある国において難民が多いといえるであろう。

本問に戻ると、この5か国の中で難民が発生するような社会的混乱が起きた国において難民が多いはずである。そこで各国の2010年での状況を見てみよう。

A ヨルダン。ヨルダンは国王が元首の立憲君主制の国で、ゲリラとの戦闘などは起きているものの特に大きい戦争や内戦は発生しておらず、難民が大量に発生する要因は存在しない。よってヨルダンは該当しない。

B イラク。多くの難民が発生している。2003年、当時のフセイン政権が大量破壊兵器を持っているとして米英を中心とした多国籍軍がイラクを攻撃した。結果としてフセイン政権は崩壊、その後新しい政権が発足したが、イスラム教スンナ派とシーア派の対立から内戦へと発展した。これにより政情が不安定となり、400万人にも及ぶ難民が発生した。その後、米軍による治安改善が進められたが、米軍が撤退した後の治安情勢は悪化傾向にあり、難民の帰還は進んでいない。したがって、Bのイラクは正解である。

C イラン。イランではイラン革命(1979年)、イラン=イラク戦争(1980年～1988年)以後は特に大きな紛争はなく、難民が大量に発生する要因として考えられる出来事は起きていない。よってイランは該当しない。

D アフガニスタン。多くの難民が発生している。1979年に旧ソ連が軍事介入したことを機に旧ソ連軍とイスラム教反政府ゲリラが戦闘を繰り広げた。1989年にソ連軍は撤退したものの、次は内戦が発生した。その内戦のさなかで、イスラム原理主義を掲げる武装勢力のタリバンが勢力を拡大し、1996年にはアフガニスタンの首都カブールを制圧して政権を樹立。2001年にアメリカで同時多発テロが発生すると、アメリカはタリバンに対し、テロの首謀者とされていたウサマ・ビンラディンの引き渡しを要求した。これをタリバン側が拒否したことで、アメリカ軍はアフガニスタンに侵攻し、タリバン政権は崩壊した。

2010年時点では新政権が発足しているが、依然としてタリバンの攻勢は続いており、政治的には不安定である。また、難民の帰還は行われているが未だに国外に多くの難民を抱えているため、Dのアフガニスタンは正解である。(難民は、2016年時点で約250万人いるといわれる。)

E パキスタン。国際問題として挙げられるのはインドとのカシミール問題であるが、現在は大規模な紛争が起きていない。選択肢の国々の中では比較的安定しており、難民が多いとは考えにくい。

以上より、B - イラク、D - アフガニスタンが正解となる。

他に難民の多い国としては、政府軍と反政府軍との激しい戦闘の続いているシリア、事実上無政府状態に陥っているソマリア、独立後も政治的対立が続く南スーダンなどが挙げられる。

問3 難易度：★★★★☆

解答例

リプロダクティブ・ヘルス・ライツ

解説

語句を知っているかどうかの問題である。知らない人もある程度いたのではないと思われる。

リプロダクティブ・ヘルス・ライツとは個人、特に女性の出産に対する意思と健康及び権利のことを示している。1994年に行われた第三回世界人口会議で採択された文章をもとにしており、この考えの広がりとともに、問題文にあるような国家による単純な出生数調節という考えは否定されてきている。

問4 難易度：★★★★☆

解答例

① 黄海

② ホワイ川(淮河)

③ テンシャン(天山)山脈

④ スーチョワン(四川)盆地

解説

中国の典型的な地誌に関する問題である。主要な山脈、河川、海洋や盆地、砂漠などはしっかり知識として定着させ、試験で出題されたときには確実に得点したい。間違えた人は地図帳などで確認をして、同じ間違いをしないように復習しておこう。

① 黄海である。黄海の北西側はシャントン(山東)半島とリャオトン(遼東)半島間の海峡を境として渤海と接している。また黄海の他に中国が接する海域として東シナ海と南シナ海がある。東シナ海は中国と日本の南西諸島に囲まれた海域であり、南シナ海は中国とフィリピン、マレーシア、ベトナムなどに囲まれた海域で、海底資源が発見されたことから領有権をめぐる対立が起きている。これらの海域の場所も地図帳で確認しておこう。

② ホワイ川(淮河)である。中国では、チンリン山脈とホワイ川を結ぶ線を境目として北部は主に畑作が行われており、南部では稲作が行われている。他にも中国の河川として、黄河や長江、チュー川などの場所も重要である。地図帳で確認しよう。

- ③ **テンシャン(天山)山脈**である。この山脈はカザフスタン、キルギス、中国の国境地帯にあり、古期造山帯に属している。他にも中国周辺の山脈として、**クンルン山脈**、**チンリン山脈**、**アルタイ山脈**、**大シアンリン山脈**、**ヒマラヤ山脈**は場所とともに覚えておこう。
- ④ **スーチョワン(四川)盆地**である。主要都市には**チョンチン(重慶)**や**チョントウー(成都)**などがあり、繊維業や鉄鋼などの工業が盛んである。また、この地域には名勝が多く、観光業も盛んである。他にも**タリム盆地**や**ジュンガル盆地**などはおさえておこう。

問5 難易度：★★★★☆

解答

イ), ハ)

解説

東アジアの産業に関する問題。そこまで難しい選択肢はないので、得点しておきたいところである。

- イ) **正** モンゴルは、石油資源のほぼ 100%をロシアから輸入しており、輸出の 9 割が中国であることから、両国に経済が依存しているといえる。モンゴルは 1991 年に市場経済を導入し、2016 年時点では鉱業と畜産業が主体である。銅、金、石炭などの鉱物資源が採れることから、外国資本が地下資源開発のために投入され開発が進められている。
- ロ) **誤** 韓国では日本などの技術協力により最新の設備を備えた製鉄所が作られ、低コストを背景に急激に生産を伸ばしているが、該当する場所は**ポハン(浦項)**であり**プサン(釜山)**ではない。
- ハ) **正** 朝鮮戦争以前の北朝鮮は鉄鋼業地域であり、石炭やタングステンが採掘されていた。また、水量が豊富な**アムノック川**や**トマン川**があるためスーブンダムなどダム施設が多く、特にアムノック川上流の**ケマ高原**(「朝鮮の屋根」とよばれる溶岩台地)では水力発電が盛んである。しかし、現在の北朝鮮の経済は硬直した体制により困窮しており、肥料不足や干ばつなどの天候不順により食糧危機が起きていて、人道支援が必要な状況にある。
- 二) **誤** 中国が改革・開放政策の一環として経済的な優遇措置をあたえた特区を設置したのは**沿岸部**であり、内陸部ではない。経済特区が設置された 5 つの都市は東から順に**アモイ(廈門)**、**スワトウ(汕頭)**、**シェンチェン(深圳)**、**チューハイ(珠海)**、**ハイナン(海南)島**である。この経済特区の設置によって沿海部と内陸部の経済格差が広がったことが問題となり、政府による**西部大開発**が行われた。中国では改革・開放政策を導入した後、特に 1993 年から社会主義を維持しながら市場経済を導入して以来、経済が急速に発展している。
- ホ) **誤** 台湾は大半が**温暖湿潤気候(Cfa)**であり、南部が**熱帯モンスーン気候(Am)**であるので、亜熱帯気候であるといえる。その気候ゆえ、米、パイナップル、サトウキビ、バナナが栽培されている。しかし、**住民構成は 98%が漢民族**であり、多数の先住民と少数の漢民族という記述が間違っている。

以上より、正解は **イ), ハ)** となる。

◆参考

西部大開発

中国では、経済特区が設置された沿岸部と農村が残る内陸部との経済格差を是正するために、西部大開発が行われた。ここでは具体的に行われた開発内容を確認しよう。

・「西電東送」

西部の豊富な石炭・水を活用して発電し、電力の不足する東部沿岸に送電する。

・「南水北調」

水が不足する北部へ、南部の長江などから運河を通じて送る。

・「西気東輸」

西部の天然ガスを、パイプラインを整備して需要の高い東部へ送る。

・チンツァン青蔵鉄道の開通

青海省のシーニン(西寧)と西藏(チベット自治区)のラサを結ぶ鉄道。2006年7月1日に全通した。

問6 難易度：★★★★☆

解答

a - 合計特殊出生率, b - セマウル, c - 戸籍

解説

語句の穴埋め問題である。自分の知識とリード文を用いれば解答できる問題である。

- a **合計特殊出生率**である。合計特殊出生率とは、1人の女性が生涯に産む子どもの数の推定値であり、2.07を下回ると高齢化と人口減少に直面するといわれている。日本やドイツ、スペイン、イタリアは特に低く、すでに人口減少が起きている。この知識があれば、1.26という低い数字と人口減少という文脈から合計特殊出生率という単語が導き出せるだろう。
- b **セマウル**である。セマウル運動とは、1970年代に始まった政府主導の事業であり、農民の意識改革をはかる社会教育プログラムや耕地・道路の整備を通して、これまで成長が遅れていた農村部の所得の向上と近代化を目指したものである。韓国の農業に関する運動という文脈から、この単語は導き出したい。
- c **戸籍**である。中国の戸籍制度では、食料確保の必要性から人々の戸籍を都市戸籍と農村戸籍に分けており、人々の移動を厳しく制限していた。都市戸籍の人は食料の配給、住居の保障や進学のしやすさの面で優遇されてきたが、農村戸籍の人は都市への移住が制限されるなど不利な状況であった。現在では労働力確保の必要性から、政府は農業戸籍の人が都市で働くことを認めるようになっている。

問7 難易度：★★★★☆

解答例

名称 - 限界集落

理由 - 医療，行政サービスが受けにくくなるうえ，若者の流出により高齢化が進み，社会的，経済的な共同作業が維持できなくなるため。(59字)

解説

過疎化による問題点の1つに関する問題である。人口問題はよく出題されるのでおさえておこう。

まず，名称は**限界集落**である。限界集落とは過疎化・高齢化が進み，経済的・社会的な共同生活の維持が困難になり存続が危ぶまれる状況に陥った集落であり，山村や離島に多い。

次に，過疎化が進むと起こる問題点を考える。まず，人口が減少することで市町村全体の税収が減るため行政が住民に提供できるサービスの水準が低下するおそれがある。また，過疎化が進むときにまず流出するのは若者である。集落の冠婚葬祭，村祭りや田植えなどの共同生活を維持するために不可欠な若年層が流出すると，共同生活が維持できなくなり，集落自体が消滅するということもありうる。

以上の内容をまとめたものが解答例である。

問8 難易度：★★★★☆

解答例

農村から都市に流入した労働者が，海外資本の工業を安価で豊富な労働力として支え，労働集約型工業の発展に貢献した。(55字)

解説

中国の労働力に関する問題である。中国の産業形態と人口流入によって発生した事態を照らし合わせて考えていこう。

1960～70年代の中国は，文化大革命の影響で経済が停滞していた。この状況を打開するため中国政府は**改革・開放政策**を打ち出し，国有企業の民営化，人民公社の解体を行って，外国資本を誘致するために沿岸部の都市に**経済特区**を設置。これにより，沿岸部の都市での労働力需要が高まった。その需要を満たすために農村から都市部への人口移動が活発になり，都市での労働力が増加した。中国で盛んな産業には，パソコンなど労働集約的な電気機械工業が多く，農村から都市へ移動した労働者はその生産力として重要だった。

また，技術力などの面から中国の工業化には外国からの投資をよび込む必要があった。労働集約的な産業は得られる労働力が投資をする際に重要な要素となる。

よって中国の農村から都市への住民の移動は，中国の都市での安くて豊富な労働力を増やし，そのことが外国企業の中国への進出を支え，中国の**労働集約型工業**の発展に貢献したといえる。これをまとめると，上記のような解答例になるだろう。

(後藤尚丈，高橋粒)